

## 「SDGs・健康経営・コロナ禍における 社会貢献活動に関する企業アンケート」結果

和歌山県経営者協会は、7月30日の定時総会でSDGs宣言を行いました。

「企業の限りない繁栄と地域の発展を求めて」という経営理念のもと当会の事業活動を通じて、同時に、会員企業は付加価値の創造、雇用の創出並びに社会の一員としての自律的で責任ある行動を通じて、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。

その一環として当会会員企業様がSDGsの取り組みをより積極的に発信していけるようサポートして参りたいと考えております。そのために現状の認知度や取り組み状況の把握などを目的として、8月から「SDGs・健康経営・コロナ禍における社会貢献活動の状況に関する企業アンケート」を実施させていただいております。現在回答数は、会員企業405社うち121社（29.4%）となっております。結果は以下の通り。

### 1. SDGsについて

#### ●SDGsに取り組んでいますか？

|         |          |
|---------|----------|
| 取り組んでいる | 66社（55%） |
| 取り組み予定  | 55社（45%） |

#### ●17の目標のどれに当てはまりますか？（複数回答）



## 2. 健康経営について

### ●健康経営に取り組んでいますか？

|         |           |
|---------|-----------|
| 取り組んでいる | 72社 (59%) |
| 取り組みたい  | 36社 (30%) |
| 今のところない | 13社 (11%) |

### ●自社の従業員に取り組んでいる内容（一部抜粋）

- ・ソフトボール、フットサル、ボーリングなどクラブ活動支援、ストレスチェックの実施
- ・禁煙デーの設定、ウォーキングアプリの導入、毎朝のラジオ体操、健康情報の共有（回覧）
- ・ウェアラブルの配布、万歩計の配布、サーマルカメラを導入し健康管理を徹底
- ・全ての従業員に対して入院した場合の病院に支払う費用の負担 など

### ●他社に紹介、支援できる健康プログラム（一部抜粋）

- ・毎月若手社員により「安全衛生委員会」を開催、産業医の指導のもと従業員の健康管理
- ・認知症セミナー、ガンセミナーの実施、健康応援アプリの提供
- ・ラジオ体操 CD,DVD の配布、
- ・和歌山市 SDGs 推進ネットワークの取組(和歌山市 HP) に「おうちでの健康づくり」動画を掲載
- ・google フォーム（体温測定フォーム）を利用し社員ごと毎日の体温変化を記録
- ・健康アプリ（ココカラダイアリー）を開発し法人向けに提供 など

## 3. コロナ禍における社会貢献情報について

### ●社会貢献活動について（一部抜粋）

#### ＜ 物品の提供 ＞

- ・マスク、フェイスシールドの寄贈（医療機関、教育機関、その他機関多数）
- ・パーティション、飛沫感染防止用の段ボール製パーティション、アクリル樹脂板の寄贈
- ・日本赤十字やわかやま NPO センターに金品の寄付
- ・余っている未開封のマスクを集め、必要としている自治体や施設に寄付するプロジェクト（集めたマスクはフェイスシールドか当社商品と交換する）
- ・マスク不足時にニットマスクの編成データを公開
- ・商品販売の 0.15%をコロナの影響を受けた子供たちへの支援を行う団体へ寄付
- ・医療機関、介護福祉施設などに商品（コロナ対応サプリメント）を無償で供給
- ・教育委員会、医療機関などに次亜塩素酸ナトリウムの無償提供
- ・コロナ禍の学生のため、授業料を一律値引き

#### ＜ 役務の提供 ＞

- ・創業以降、社会福祉法人を立ち上げ社内保育施設を設立、社外も受入れ地元で非常に高い評価
- ・年一回、献血車に来てもらい、従業員が献血協力
- ・農水産業や小売業の EC 事業化を検討されている方々へ、無償のセミナーを実施
- ・春休みなどに子供たちをスキーキャンプや英会話プログラムにご招待
- ・コロナウイルス禍で就職難の生徒さんの受入を検討
- ・特別相談窓口の設置

ご賛同いただける会員企業様は引き続き、アンケートへのご協力よろしくごお願い致します。